市　長	副市長	教育長	教育次長	課　長	館　長	館長補佐・係長	係員	記　録

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】
【会議名：糸魚川市博物館協議会　全体会】

☑開示
☐一部開示　(理由:条例第　条第　号　該当)
☐不開示
☐時限不開示　(開示:　　年　　月　　日)

会　議　録

作成日　令和４年７月 28 日

日	令和４年７月 26 日	時間	14:00　～　15:50	場所	フォッサマグナミュージアム　ホール
件名	議題１　報告事項１～５ １　令和３年度博物館協議会の活動について ２　入館状況について ３　ミュージアムショップの運営状況について ４　令和３年度博物館諸事業（業務係担当分）について ５　令和３年度博物館諸活動（学芸係担当分）について 議題２　協議事項 １　令和４年度博物館協議会の活動計画について ２　令和４年度事業計画について				
出席者	【出席者】９人 専門部会　椚座会長　松岡委員　山縣委員　オンライン参加：大塚委員 運営部会　野本委員　堀田委員　川合委員　横澤委員　銀林委員 【オブザーバー】１人 糸魚川ジオパーク協議会　菅原氏 【欠席者】１人 運営部会　中村委員 【事務局】５人 博物館　竹之内館長　猪口館長補佐　茨木主査　小河原主任主事　郡山主事				
	傍聴者定員	人	傍聴者数	１人	

会議要旨

１　開会（14：00）
　館長あいさつ
２　議題
（１）報告事項
【事務局】報告事項１～５を資料に基づき説明。
質疑
【委員】変わらず、多くの活動を実施しているが、活動を整理する必要性はないか。特に石の鑑定などの活動を緩めるような見直しをする予定はないか伺いたい。
【事務局】近年、鑑定券を配布したうえで土日・ゴールデンウイーク・お盆期間のみの限定した人数

で対応しているため、以前に比べれば対応人数はかなり減少した。また、石のガイド養成講座をおこなうなど、石の鑑定ができる人材の育成もおこなっている。

【委員】博物館の学芸員でおこなうものとそのほかの人材で可能なものと分けていくのは必要。

【委員】コロナ禍にも関わらず、イベント・講座の中止がなく開催されている。中止せずに継続するために、工夫をしている点はあるか。

【事務局】ホールは定員 80 人のところ半数にする、野外講座もバスの定員の半分以下で募集するなど、三密を避ける工夫をしてきた。

【事務局】合わせて配信機器を充実させたこともあり、講演会等では第二会場の設置、YouTube 配信をおこなうなどして、密にならない工夫をしている。その結果、遠方の方に参加いただける利点もあった。

【委員】今は学芸員が入れ替わりの時期であると思う。前例踏襲もいいが、それぞれの専門に合わせて活動の見直しをおこなうことができる時期。協議会の資料スタイルも毎年変化していない。

【事務局】学芸員はお互いにフラットな立場を心掛けて活動しており、互いに自分の専門を生かした研究を自主的におこなっている。委員がおっしゃるとおり、同じことを繰り返すだけではなく、専門に合わせて活動していく。

【事務局】昨年度は文化庁の補助金を活用し、新潟大学や地域の方、山岳団体と合同で山岳調査をおこなった、今までにない特別展ができた。これからも外部団体と連携し、様々なことにチャレンジしていきたい。

【委員】協議会の資料が同じという点は変えたほうがいい。今までの学芸員が教育普及の礎を作ってきており、さらなる魅力発信という意味では研究が非常に大事。研究をできる環境を整えることも必要ではないか。

資料の内容は学会発表だけではなく、どんな研究者と連携して活動しているかなどもっと記載ができる。また、標本の収蔵も大きな課題になっているはずだが、どのような将来構想を持っているか、方向性についても提示していただき議論することも大事ではないか。

【事務局】研究活動については、おっしゃるように今後内容を追加していく。博物館は、研究・教育・展示・収蔵バランスよく運営していかなければならない。ジオパーク認定以降、市民の要請で教育普及活動のウエイトが大きくなったことも事実。打開策ではないが、他機関との連携、石の鑑定制度の変更など工夫を行っている。収蔵に関しては、2015 年の展示リニューアルの際に収蔵庫拡張を検討したが、予算の関係で叶わなかった。

【委員】研究に関しては専門部会の委員を活用していただきたい。

【委員】NHK の「ブラタモリ」や「72 時間」の放送の効果はどの程度あったのか。

【事務局】反響は大きい。今年のゴールデンウイークもフォッサマグナパークの駐車場があふれて停められなくなるといった苦情もあった。

（２）協議事項

【事務局】令和４年度博物館協議会の活動計画、令和４年度事業計画について資料に基づき説明。

質疑

【委員】黒姫山の調査結果を展示に生かすことは考えているのか。多角的な調査を行ったものなので、

ぜひ市民に還元していただきたい。

【事務局】常設展で難しければ特別展等で調査結果を市民に伝えていきたい。

【委員】フォッサマグナパークは、最近の長雨で断層露頭の状況変化はないか。

【事務局】ここ１、２年大きな崩壊はない。モニタリングを継続していく。

【委員】駅北広場キターレと合同でイベントを行っている行事をSNSで興味深く見ている。博物館にとっても街中で活動し宣伝していくことはとても良い活動だと思う。

【事務局】キターレでは、子どもや親子連れに向けたイベントを行っている。学芸員も協力して活動している。キターレは、交通の便が良く博物館でおこなっているおもしろミュージアムのような活動をキターレでも行うことで相互に良い成果を生むと考える。

【委員】学校で活用できる資料を博物館が提供するとより学びが深まるのではないか。

【事務局】現在、糸魚川市教育委員会でジオパーク学習の基底計画作成をおこなっている。その中では展示解説の動画、案内説明の配信も検討している。教員と連携しながらおこなっていく。

【委員】ジオパークガイドの利用がどのくらいあるのかはわかるか。

【事務局】正確な数字は持っていないが、ガイドと連携して学校案内を対応している。

【委員】連休にフォッサマグナパークに訪れたが、ガイドにわかりやすく案内していただいた。

【委員】市民無料開放日はあるか？その際に利用者数は増えるか？

【事務局】現在はおこなっていない。以前は正月におこなっていたが、雪の影響か客数は少なかった。

【委員】義務教育のうちに博物館に家族で来られたらいいと思っている。夏休み、シルバーウイークで無料開放日のようなことがあればうれしい。

【事務局】状況をみて検討していきたい。

【委員】協議会資料からは、博物館と連携している組織が見えてこない。他団体との関係性を見える化できないか。

【委員】イベント一つとっても博物館がどこまでコミットしているかはわかりにくい。海岸で石を拾って終わりではなく、博物館への誘導などが必要ではないか。

【事務局】縦割りに横ぐしを入れるのは、ジオパークであると思うのでそのような見える化をおこなっていきたい。

３　館内視察（15：25）

改修した空調設備や配信設備等を説明、炭化木の展示説明（第４展示室）

４　その他（15：50）

【委員】青海中学校に小野健氏の所蔵品があるなど、各所に資料が点在している。１か所に集約できないか。

【事務局】中学校やご遺族など関係者と相談させていただく。

【委員】各部会の開催が未定になっているが、オンラインも可能のようなので開催していただきたい。

５　閉　会（15：50）

竹之内館長あいさつ

以上